

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

### 1 確認日

令和6年5月22日（水）

### 2 確認箇所

淡水化装置RO3

### 3 確認項目

淡水化装置RO3-2における不具合とその対策状況

### 4 確認結果の概要

淡水化装置RO3-2において発生した不具合とその対策状況について、東京電力担当者より机上で説明を受けるとともに、現地の状況を確認した。

（写真1）（図1）

（事象概要）

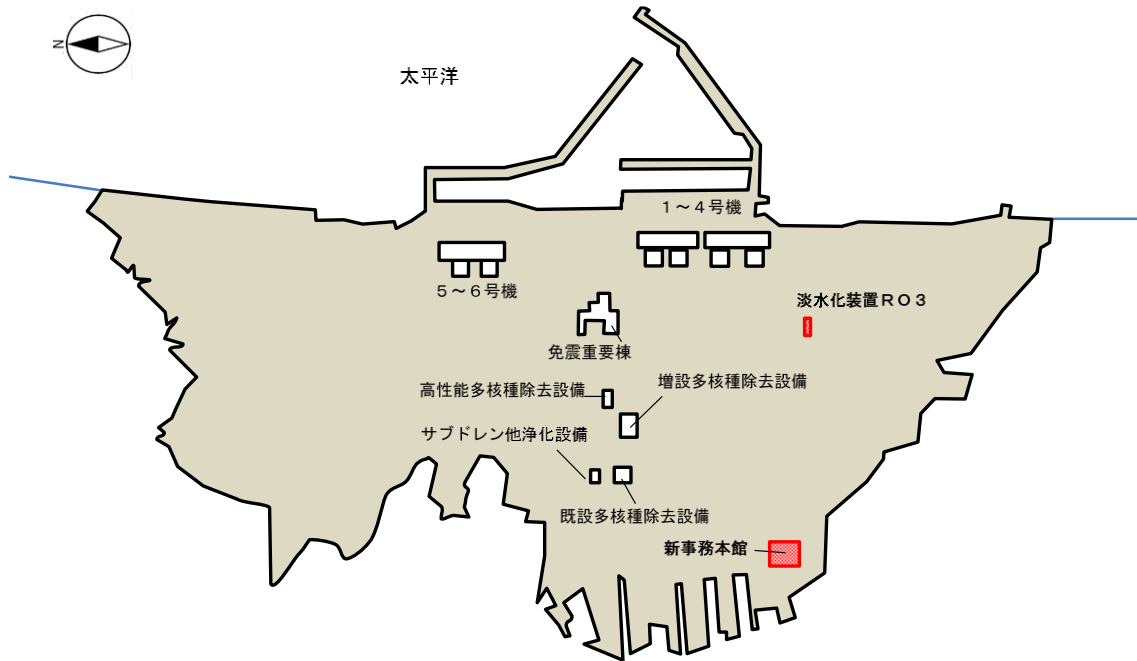
令和6年5月17日11時頃、配管圧力を測定するための計装チューブから水が滴下していることをパトロール員が確認した。その後、RO3-2を停止することによりリークが止まったことを確認した。漏えいした範囲は1m×2m×1mmであり、堰内にとどまっていた。

（聴取内容）

- ・ 計装チューブ同士が振動により擦れてピンホール（小さい孔）の発生に至ったと考えられる。
- ・ 本来、計装チューブ同士が接触する部分に緩衝材を付けて保護しているが、運転の振動により緩衝材がズレたものと考えられる。
- ・ 当日12時頃に漏水の拭き取りが完了した。
- ・ 当該チューブを交換後、リークチェックを行い、問題がないことを確認した。
- ・ 淡水化装置の類似箇所（チューブ接触部）を確認し、緩衝材の設置状況に問題がないことを確認した。

（現地の状況）

- ・ チューブ同士が接触していた箇所に緩衝材が取り付けられていることを確認した。（写真2）
- ・ 確認した範囲では、配管、チューブ等からの水の滴下は見られなかった。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)  
淡水化装置RO3建屋外観



(写真1-2)  
淡水化装置RO3建屋内部



(写真1-3)  
逆浸透膜の処理ユニット  
※淡水化装置RO3の一部



(写真2)  
緩衝材の設置状況  
※漏えい発生時、チューブ(黒)と  
チューブ(白)が接触していた。

#### 5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。